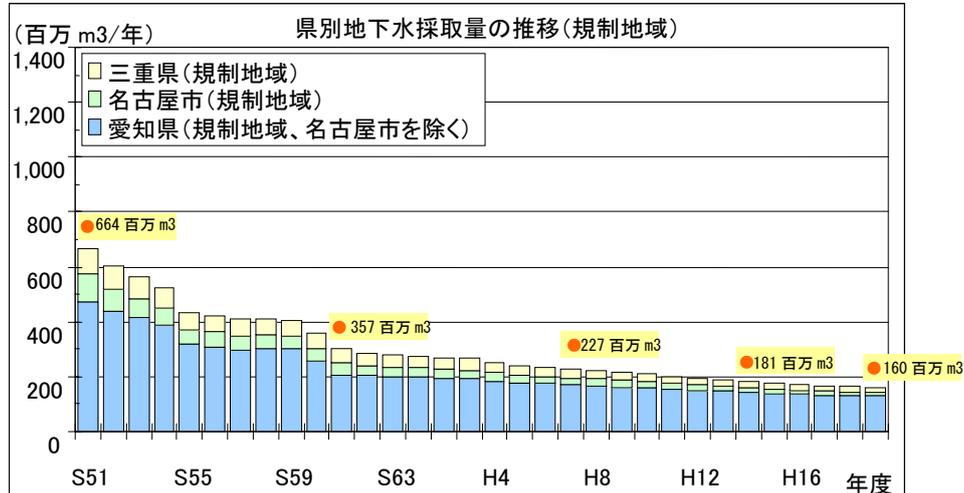


○濃尾平野

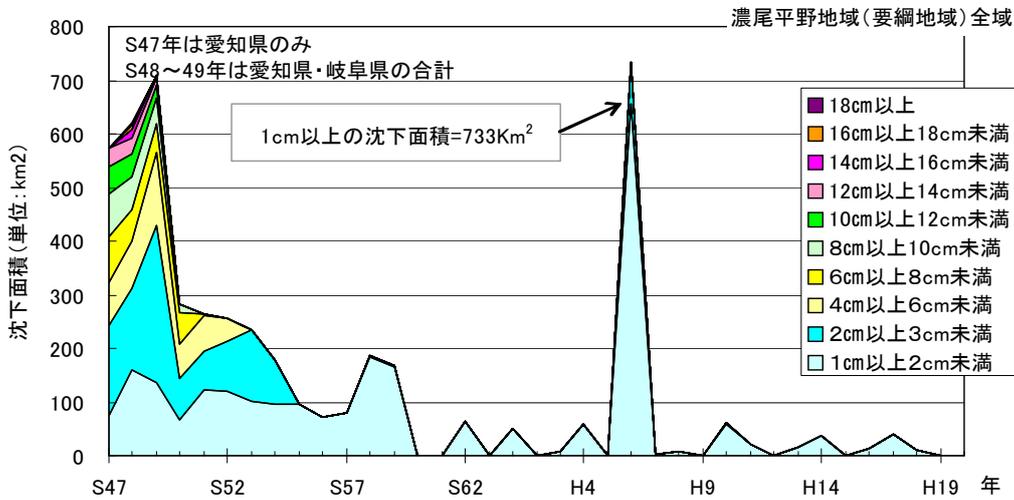
・地下水採取量の経年変化

規制地域における地下水採取量は年々低減しており、平成2年以降地下水採取目標量の年間2.7億m³を下回っている。

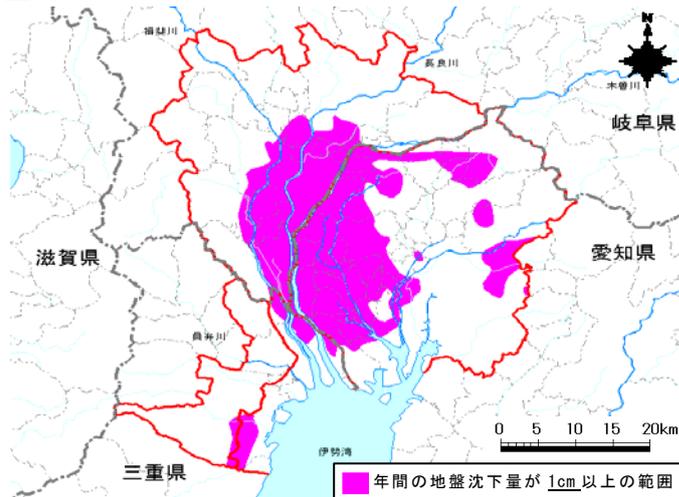


・沈下面積の経年変化

地盤沈下は沈静化の傾向にあるが、平成6年にみられるよう、渇水時には地盤沈下面積が拡大する。



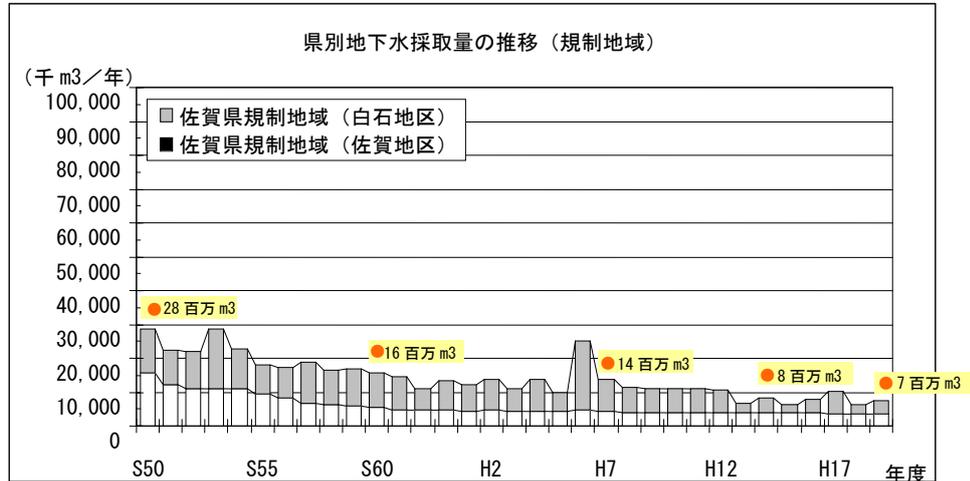
・渇水時の地盤沈下状況(平成6年)



○筑後・佐賀平野

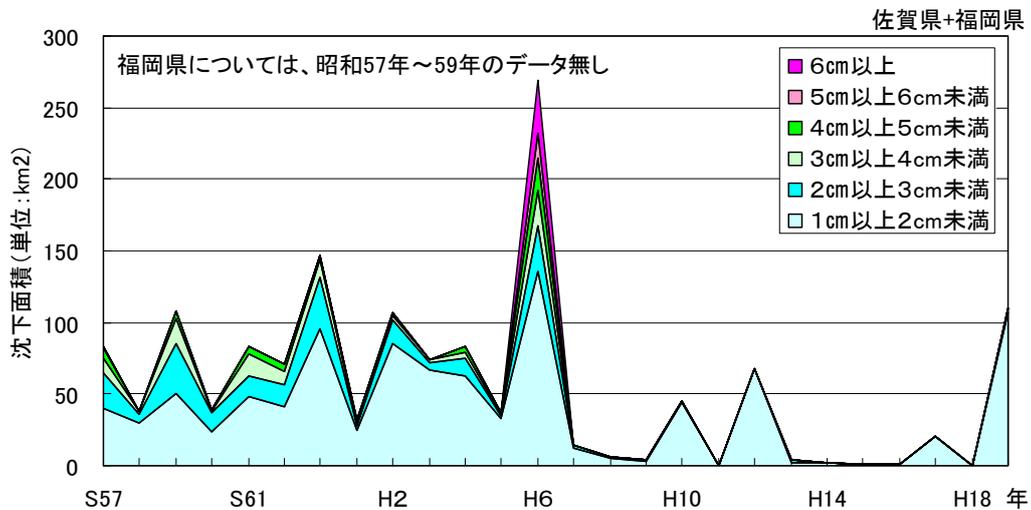
・地下水採取量の経年変化

規制地域の佐賀地区における地下水採取量は年々低減しており、地下水採取目標量の年間 600 万 m³ を下回っている。白石地区における地下水採取目標量は年間 300 万 m³ であり、平成 18 年に一旦目標量を下回ったが、平成 19 年には再び目標量を上回った。



・沈下面積の経年変化

地盤沈下は沈静化の傾向にあるが、平成 6 年にみられるよう、渇水時には地盤沈下



・渇水時の地盤沈下状況（平成 6 年）

<佐賀県>



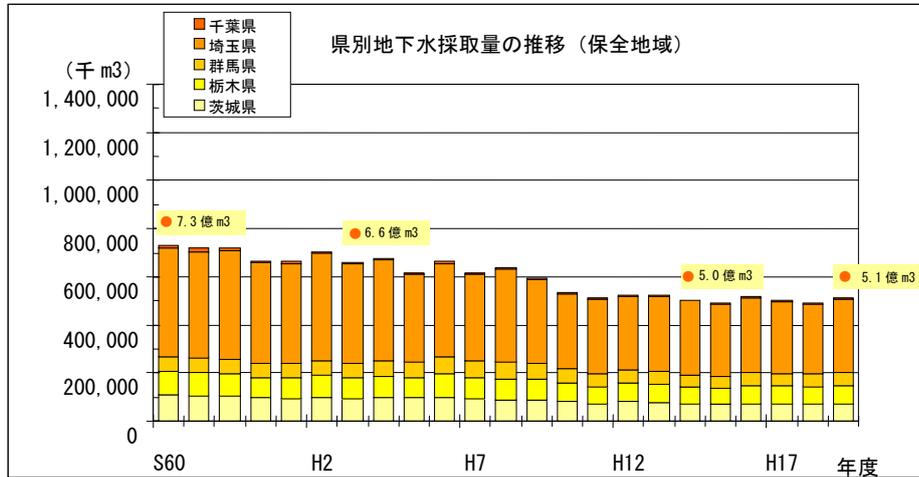
<福岡県>



○関東平野北部

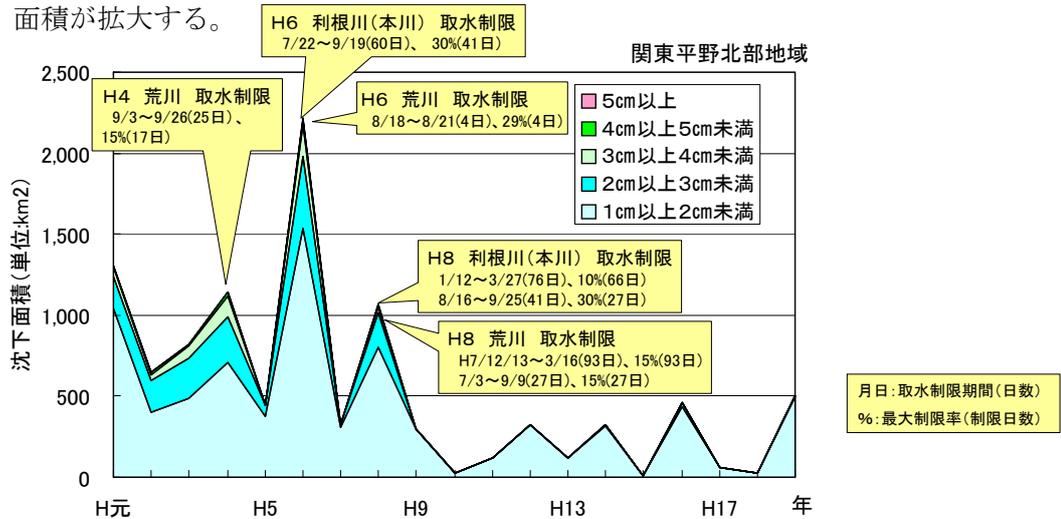
・地下水採取量の経年変化

保全地域における地下水採取量は年々低減しているが、依然、地下水採取目標量の年間4.8億m³を上回っている。



・沈下面積の経年変化

地盤沈下は沈静化の傾向にあるが、平成6年にみられるよう、渇水時には地盤沈下面積が拡大する。



・渇水時の地盤沈下状況（平成6年）

